

平成30・31・32年度
新座市教育員会委嘱

<学力向上>

表現する力を育てる授業の創造

新座市立東北小学校

1 研究主題設定の理由

過去の
研究を

表現する力を育てる授業の創造

課題

学校教育
目標

2 目指す児童像

自分の考えをつたえることができる

内容理解

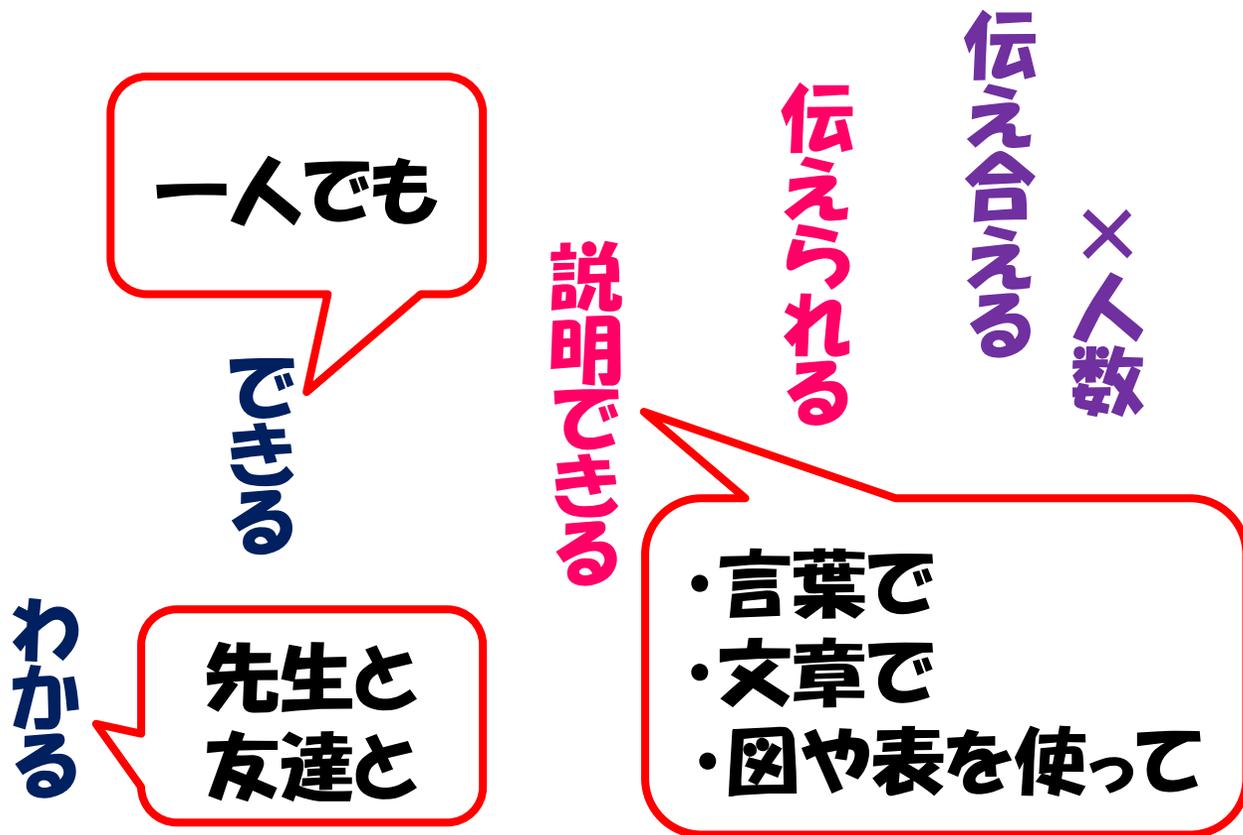
言い換える

自分の
言葉で

相手を納得させる

2 目指す児童像

「わかる」「できる」の一步上を！



3 校内研修の原則

原則1 大きなビジョンに対して、自由な実践を

原則2 目的意識をもち、主体的に

無理なく 楽しく 手を抜かず

から

事後のふりかえりと共有を大切に

原則4 公開はあくまでも研究途上の公開

3 校内研修の原則

仮説検証型→課題解決型へ

「～するための様々な実践」をして

全教職員で「共有」する

授業実践を積み重ねる校内研修！

授業の進め方・表現する力の高め方

- ＜導入＞ 前単元の確認することで、本学習に生かせるところがあることに気づかせる。
 ＜展開＞ 個人で考え、グループでのイメージマップ作り。（物事の関係を整理する）
 ＜まとめ＞ イメージマップをもとにわかりやすい文の組み立てについて考えさせる。

本時の目標

イメージマップをもとに、どうすればわかりやすい文になるか考えよう。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	目指す学びの到達点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時までをふり返り。 ※前単元「すがたをかさる大豆」の例文を参考にさせる。 本時のめあてを確認する。 	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書事項について覚えていることがらを振り返り出す。
展開	<p>どうすればわかりやすい文になるか考えよう</p> <p>1・自力解決、教科書等を観て個人で探求する。 ＜確認事項＞ ○どんな材料からどんな食品ができるか考える。 ○その工程にはどんなものがあるか考える。</p> <p>2・生活班（4人グループで）意見交換をする。 （確認事項） ○イメージマップをもとに、この材料でどんな工夫があって、作ることができるか書く。 ○どう加工するとこの食品ができるか考え、イメージマップの途中に書き込んでいく。</p>	<p>イメージマップ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら考え自分の言葉で書かせていく。 <p>全体発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 短く、分かりやすく班で出した意見を整理する。
結末	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に掲示してあるイメージマップをもとに、どんな文章構成をしていくか考える。 次時には、自分が決めた原稿をさしに添く振り返り下げて、どんな食品の例がないかどうか調べることを促し、さしに書く内容を順番に併せて指導していく。 	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 出した意見をもとに自分が調べた材料を決める。

授業を終えて

- 授業一割合の学習をとおして行ったイメージマップを書いたことで、調べることも自分のテーマについての見直しをもち、自分の得意でも表現のための課題把握がスムーズにできた。
 △課題一課題設定のためには有効であったが、めあてについては班で確認する時間を15分くらいとり、全体で「わかりやすい文とは」を共有できるようにしていく必要があるように感じた。

授業の進め方・表現する力の高め方

- ＜導入＞ 前回までの学習を確認することで、より深い学びにつなげる。
 ＜展開＞ 全体で取り組みを知る。理由を班で意見交換をする。全体で共有する。
 ＜まとめ＞ 授業で出たキーワードや写真から自分の言葉に置き換えてまとめる。

本時の目標

人々の暮らしのよさを生かすための取り組みについて知り、その理由を考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	目指す学びの到達点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時までをふり返り。 ※暮らしのよさを生かす取り組みを振り返る。 本時の学習内容の把握。（学習課題を作る） 	<p>全体で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体で前時に学習したことを確認する。
展開	<p>人々の暮らしのよさを生かすための取り組みについて知り、その理由を考える。</p> <p>1 取り組みを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で写真から見つける。 友達の発見から学ぶ。 <p>＜確認事項＞ ○自販機や街灯の色や高さを確認している。 ○電線や空外掛を確認している。</p> <p>2 理由を考える。</p> <p>＜確認事項＞ ○暮らしのよさを生かすために工夫している。 ○歴史的文化財に目が行くようにしている。</p>	<p>ノート作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 発見したことを抑える。 <p>話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに班で話し合ったことを書かせる。 全体で共有する。
結末	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をまとめる。 暮らしのよさを生かすために人々は様々な取り組みをしている。 わたしたちができる取り組みについて考えあわせにつなげる。 	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真を使って自分の言葉で表現する。

授業を終えて

- 導入で全体確認をすることで、本時の学習に取り組みやすい。
- テレビで写真を提示し、一点に集中させることで考えを深めやすい。
- 黒板の写真を使って自分の言葉に置き換えて学習のまとめをすることは表現する機会として適している。

授業の進め方・表現する力の高め方

＜導入＞ 既習を活用することで、「できる」という探求心を湧かせる。

＜展開＞ 補助線の無効を明らかにさせ、「団子回やアレイ回」で説明させる。

＜まとめ＞ 図で確認しながら、自分の言葉でまとめさせる。

本時の目標

問題作りによる、式の見みやり式に表現することを通して、5、2、3、4の位の理解を深める。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	数時55分前58分まで
導入	<ul style="list-style-type: none"> キーワードに下線を引かせるなどして、問題の意味を理解させる。 解決の発想しを持ち、学習意欲を高める。 	フリートーク ・論同士自由に語る。 ・自由な発想を促す。
展開	<p>2つの問題のしきと答を比べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自力解決。 「1つ分」や「いくつ分」といったキーワードをヒントに、補助線をひく。 団子回やアレイ回で表す。 自力解決後、答の確認をする。 少人数グループで話し合う。 集団練り上げ、代表者が発表する。 他者の考えを眺み取り、図や式などで説明する。 	ノート作り ・自ら考え自分の言葉で書かせる。 全体発表 ・図や式とリンクさせながら。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 「1つ分」と「いくつ分」を考えさせしきをつくる。 連立問題に取り組み。 	振り返り ・図で確認しながら、自分の言葉でまとめさせる。

授業を終えて

- ・導入に「1かごに3個入りのおまんがが6かご」の問題を図で見せて、答させたのは効果的だった。
- ・2つ問題を比べられるように、プリントを作成し図のスペースを取った。
- ・「まとめ」を「わかったこと」として児童自身のことばで書かせたが、キーワード「1つ分」のことばを伸べてまとめられると効果的が理解できる。

授業の進め方・表現する力の高め方

＜導入＞ OD と表現を使い、どのような曲が表現をする。

＜展開＞ 曲想と音楽の構造の併わりについて話し合い、思いや意図に合うような歌い方を工夫して、いろいろな歌い方で歌う。

＜まとめ＞ 本時の内容を振り返る。

本時の目標

声が高なるよさや面白さを感じ取り、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	数時55分前58分まで
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの振り返り。 本時の学習内容の把握。 本時のめあてを確認する。 	振り返り ・前時までの学習内容を振り返らせる。
展開	<p>「パレード ホッホー」に合う歌い方の工夫をして、表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旋律の特徴について全体で話し合う。 思いや意図に合った表現になるように、友達の意見を活かして歌ったり、歌声を聴いて意見を伝え合ったりする。 	話し合い ・OD を使う ・拡大歌詞提示 ・児童が自分たちの思いを表現できるような歌い方を表現できるよにする。(創意に応じて、開始前編曲の 全体発表)
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時に学習したことを思い出して歌う。 全体で声を合わせて歌う。 本時のめあてに対する振り返り。 	振り返り ・本時のめあてに対する振り返りさせ、次時への意欲につなげられるよにする。

授業を終えて

- ・拡大歌詞を提示し、書き込めることですぐに活動ができる。(いろいろな歌い方を試すことができた。)
- ・同じ人が意見を言う、一話しやすい雰囲気づくりが課題です。
- ・毎時振り返りを行っているので既習事項が身についた。

学校生活についてのアンケート

年 組 番 名前

	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまらない	あてはまらない
(1) 自分には、よいところがあると思う。	1	2	3	4
(2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	1	2	3	4
(3) 将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4
(4) 学校のきまりを守っている。	1	2	3	4
(5) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	1	2	3	4
(6) 人の役に立つ人間になりたいと思う。	1	2	3	4
(7) 進んであいさつや返事をする事ができる。	1	2	3	4
(8) 発言権を持つことができる。	1	2	3	4
(9) 廊下や階段を静かに歩くことや、朝会などで静かに待つことができる。	1	2	3	4
(10) 授業の前に、机の上に学習道具をそろえることができる。	1	2	3	4
(11) 机やロッカーの中の整理整頓をすることができる。	1	2	3	4
(12) チャイム響席や休み時間に運動場に出るなど時間を守ることができる。	1	2	3	4
(13) 朝マラソンで、最初から最後まで歩くことなく走り切ることができる。	1	2	3	4

1年～3年生学習についてのアンケート

年 組 番 名前

	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまらない	あてはまらない
(1) わけをつけて自分の考えを話すことができる。	1	2	3	4
(2) 絵や文で自分の考えをかくことができる。	1	2	3	4
(3) 相手の考えを最後まで聞くことができる。	1	2	3	4

4年～6年生学習についてのアンケート

年 組 番 名前

	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまらない	あてはまらない
(1) 自分の考えを分かりやすく伝えることができる。	1	2	3	4
(2) 自分の考えを相手に伝えられるようにまとめることができる。	1	2	3	4
(3) 相手の考えを自分の考えと比べながら聞くことができる。	1	2	3	4

4

研究協議



“気づき”の共有